

「あなたは私と共にパラダイスにいることになります」

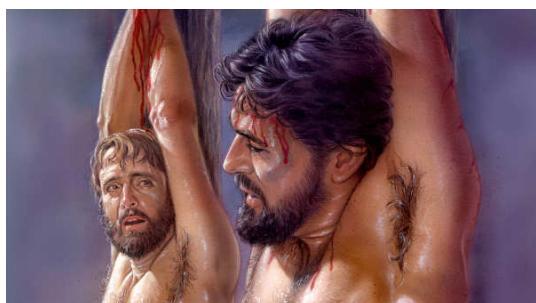
「今日あなたに言います。あなたは私と共にパラダイスにいることになります」。[ルカ 23:43](#)

145 番の歌 パラダイスについての神の約束

何を学ぶか* 「パラダイスではどんな生活ができるんだろう」と考えることがありますか。 そうしたことを想像すると、伝道でパラダイスについてもっと気持ちを込めて語れるようになります。 この記事を学ぶと、イエスが約束したパラダイスがもっと楽しみになるでしょう。

1. イエスは死くなる前、隣にいた犯罪者に何と言いましたか。 ([ルカ 23:39-43](#))

イエスと2人の犯罪者は杭に掛けられています。死が迫り、とても苦しんでいます。 ([ルカ 23:32](#), [33](#)ほかにも2人の犯罪者が、イエスと一緒に処刑されるために引かれていった。33兵士たちは、どくろと呼ばれる所に着いた時、イエスを杭にくぎ付けにし、その左右に犯罪者たちを1人ずつくぎ付けにした) 2人の犯罪者はイエスに向かって暴言を吐きます。このことからすると、2人はイエスの弟子ではありませんでした。 ([マタ 27:44](#)一緒に杭に掛けられた強盗たちですが、同じようにイエスを非難。[マル 15:32](#)イスラエルの王キリストに、今、苦しみの杭から下りてもらおうではないか。そうしたら信じよう)。一緒に杭に掛けられた人たちですが、イエスを非難するのだった) でも、そのうちの1人が態度を改め、「イエス、王国に入る時に私を思い出してください」と言います。すると、イエスはこう答えます。「今日あなたに言います。あなたは私と共にパラダイスにいることになります」。 ([ルカ 23:39-43](#)杭に掛けられた犯罪者の1人がイエスに暴言を吐き始め、「キリストだろ。自分とわれわれを救ってみろ」と言った。40それに対してもう1人が、彼を叱った。「神を少しも畏れないのか。同じ処罰を受けているのに。41われわれの場合は当然だ。自分がしたことの報いを受けているのだから。しかしこの人は何も悪いことはしていない」。42さらに言った。「イエス、王国に入る時に私を思い出してください」。43イエスは言った。「今日あなたに言います。あなたは私と共にパラダイスにいることになります」を読む。) この人は、イエスが伝えた「天の王国」についてのメッセージを聞いたかもしれません、イエスの弟子になってはいませんでした。イエスも、その人が天の王国に入るとは言いませんでした。 ([マタ 4:17](#)その時から、イエスは伝道を開始して、「悔い改めなさい。天の王国は近づいたからです」と言い始めた) イエスがここで言っていたのは、パラダイスになった地球のことです。どうしてそう言えるでしょうか。



イエスと話した犯罪者について、どんなことが分かるか。(2-3節を参照。)

2. この犯罪者がユダヤ人だったと考えられるのはなぜですか。

2 この犯罪者はユダヤ人だったようです。もう1人の犯罪者に対してこう言いました。「**神を少しも畏れないのか**」。(←ルカ 23:40) ユダヤ人は、ひとりの神を信じていました。一方、周りの国々の人たちは複数の神を信じていました。(出 20:2, 3 私はあなたの神エホバである。奴隸となっていたあなたをエジプトから連れ出した。3 あなたは**私以外の**(*私に反抗して/d私の顔に逆らって)**どんなものも神としてはならない**。コリー 8:5, 6 多くのものが「神」や「主」と呼ばれており、天や地のさまざまな神が信じられていますが、6 私たちには父であるひとりの神がいて、この方によって全てのものがあり、私たちはこの方のために存在しています。また、ひとりの主イエス・キリストがいて、この方を通して全てのものがあり、私たちはこの方を通して存在しています) ですから、その人がユダヤ人でなかったなら、「**神々を少しも畏れないのか**」と言ったはずです。また、イエスが遣わされたのは、「**イスラエル国民の迷い出た羊**」を助けるためでした。(マタ 15:24 イエスは答えた。「私は、**イスラエル国民の迷い出た羊の所にしか遣わされていません**」[イスラエルへの恵みの期間～AD36]) さらに、エホバは**イスラエル人に死者の復活があることを伝えていました**。この人の語った言葉からすると、この人は**イエスが復活して神の王国の王になることを信じていた**ようです。**神が自分のことを見つけてくれるとも考えていた**のでしょうか。

3. イエスが**パラダイス**について語った時、この犯罪者は何をイメージしたはずですか。(創世記 2:15)

3 この人がユダヤ人だったとすれば、エホバがアダムとエバを美しいパラダイスに住ませたことを知っていたはずです。それで、イエスがパラダイスのことを語った時、地球上のそのような美しい場所をイメージしたでしょう。(創世記 2:15 エホバ神は人を**エデンの園**に住ませた。そこを耕させ、管理させるためだったを読む。)

4. イエスが隣にいた犯罪者に語った言葉について考えると、どんなことを知りたいと思いますか。

4 イエスが隣にいた犯罪者に語った言葉について考えると、「**パラダイスってどんな所なんだろう**」と思うかもしれません。ソロモンが王だった時代の様子から、**パラダイスについて分かる**ことがあります。聖書によれば、**イエスはソロモンよりも素晴らしい統治**を行います。14万4000人と一緒に、**地球を美しいパラダイスに変えていきます**。(マタ 12:42 南の女王も裁きの際にこの世代と共に復活し、この世代を断罪します。女王はソロモンの知恵を聞くために地の果てから来たからです。しかし見なさい、ソロモンを上回る者がここにいます) 「**ほかの羊**」の人たちは、**パラダイスで生活する**ためには**どんなことをする必要があるのか**、ぜひ知りたいと思うことでしょう。(ヨハ 10:16 私には**ほかの羊**がいますが、この囲いのものではありません。私は**その羊たちも連れてこなければならず**、それらも私の声を聞きます。こうして、1つの群れ、1人の羊飼いとなります)

パラダイスではどんな生活が待っている？

5. パラダイスではどんな生活ができると思いますか。

5 パラダイスと聞くと、どんな所をイメージしますか。**エデンの園**のような美しい庭園かもしれません。(創 2:7-9 エホバ神は地面の土で人を形作り、その鼻に息を吹き込んで命を与えた。すると**生きた人**(*呼吸する生き物。ヘブライ文「**命**」)になった。8 さらにエホバ神は**東方のエデンに庭園を造り**、自分が形作った人をそ

ここに置いた。9 エホバ神は、食べられる実を付けるさまざまな美しい木が地面から生えるようにし、庭園の真ん中に命の木を生えさせた。また、善惡の知識の木を生えさせた) ミカ書の中には、「それぞれ自分のブドウの木やイチジクの木の下に座[る]」という預言があります。(ミカ 4:3, 4 神は多くの人々の中で裁きを下し、遠くの強い国々の人たちを正しい方向に導く(*人たちに関して物事を正す)。彼らは剣をすきに、やりを鎌に作り替える。国は国に向かって剣を振り上げず、彼らはもはや戦いを学ばない。4 彼らはそれぞれ自分のブドウの木やイチジクの木の下に座り(*住み)、誰にも脅かされない。大軍を率いるエホバの口が語ったのである) 聖書には、食べ物が豊かにあるということも予告されています。(詩 72:16 地上には穀物が豊かに実り、山々の頂でも豊作になる。王の収穫物はレバノンの木々のように素晴らしい、町の住民は地上の草木のように咲き誇る。イザ 65:21, 22 人々は家を建てて住み、ブドウ園を造って実を食べる。22 建てた家に他人が住むことはなく、植えた物を他人が食べることもない。私の民の寿命は木の寿命のようになり、私が選んだ者たちは働く喜びを存分に味わう) 想像してみてください。美しい自然の中で、おいしいものがたくさん並んだ食卓をみんなで囲んでいます。草木や花の爽やかな香りもしてきます。家族や友達の楽しそうな笑い声も聞こえてきます。その中には、復活してきた人たちもいます。夢みたいな話だと思いますか。でも、これはパラダイスになった地球で必ず実現することです。さらに、パラダイスではやりがいのある仕事も待っています。



私たちには、復活してきた人たちを教える大切な仕事がある。(6節を参照。)

6. パラダイスではどんな仕事がありますか。 (挿絵を参照。)

6 エホバは人間を、仕事を楽しめるように造りました。(伝 2:24 食べ、飲み、一生懸命働く充実感、人にとってこれ以上の幸せはない。私はこれもまた、真の神からのものだと気付いた) 千年統治は特に忙しくなります。大患難を生き残った人たちや復活してくる人たちに、服や食べ物や家を準備する必要があるからです。それはとてもやりがいのある仕事です。アダムやエバと同じように、地球をパラダイスに変えていく仕事もあります。人々を教える仕事もあります。エホバやエホバのお考えをほとんど知らない人たちや、古代の忠実な人たちが大勢復活してくるからです。

7. ①パラダイスはどんな所になりますか。②どんなことから、それが分かれますか。

7 ①パラダイスでは、みんなが仲良く暮らし、生活に必要な物に困ることはありません。また、そこに住む人たちはきちんと組織されます。こうしたことは、ソロモンが王だった時代の様子から分かります。では、その点を聖書から調べていきましょう。

パラダイスをイメージさせるソロモン王の治世

8. 詩編 37 編 10, 11, 29 節は、古代にどのように実現しましたか。（この号の「読者からの質問」を参照。）

8 ダビデは聖なる力を受けて、エホバに仕える賢い王が治める時のことと書きました。（詩編 37:10, 11 ほんのもう少しすれば悪人はいなくなる。彼らがいた場所を見ても、もういない。11 しかし、温厚な人は地上に住み続け(*地球が与えられ)、豊かな平和をこの上なく喜ぶ、29 正しい人は地上に住み続け(*地球が与えられ)、そこで永遠に暮らすを読む。）私たちは、詩編 37 編 11 節を将来のパラダイスについて説明する時によく使います。イエスも山上の垂訓の中で、この聖句を将来起きることとして語りました。（マタ 5:5 温和な人たちは幸福です。地球を与えられるからです）でも、ダビデのこの言葉は、ソロモンが王だった時の様子にも当てはまります。当時のイスラエルは、とても平和で、民は「非常に肥沃な土地」で豊かな暮らしをしていました。また、エホバが昔語った、「あなたたちが私の法令に従[う]なら、私はその土地に平和を与える、あなたたちは誰にも脅かされずに横になる」という言葉も、その通りになりました。（レビ 20:24 そのため私はあなたたちに言った。「あなたたちは彼らの土地を取得し、私はそれをあなたたちに所有物として与える。非常に肥沃な土地(d*乳と蜜が流れる地)である。私はあなたたちの神エホバであり、あなたたちをほかの民とは別にした」；26:3 あなたたちが私の法令に従い、私のおきてを守り続け、それらを実行するなら、6 私はその土地に平和を与える、あなたたちは誰にも脅かされずに横になる。私はどう猛な野獸をその土地から除き去る。剣を持つ人があなたたちの土地を通っていくこともない。代一 22:9 あなたに男の子が生まれ、その子は平和な人となる。私は、彼を周囲の全ての敵から守って彼が安心できるようにする。彼はソロモン(*平和という意味のへ語に由来)と呼ばれ、彼の時代に私はイスラエルに平和と平穏を与えるのである；29:26-28 エッサイの子ダビデはイスラエル全体を治めた。27 彼がイスラエルを治めた期間は40年だった。ヘブロンで7年治め、エルサレムで33年治めた。28 彼は長生きした後、やがて死んだ。長寿と富と栄誉に恵まれた人生だった。代わりにダビデの子ソロモンが王になった）さらに、邪惡な人たちが「いなくなる」という約束も実現しました。（詩 37:10）ですから、詩編 37 編 10, 11, 29 節は、将来に当てはまるだけでなく、古代にも実現したと言えます。

9. シェバの女王はイスラエルの様子を見て何と言いましたか。

9 ソロモンの統治の下でイスラエルの人たちが平和で豊かな暮らしをしているといううわさは、シェバの女王のもとにまで届きました。女王はその様子を自分の目で確かめるために、はるばるエルサレムまでやってきました。（王一 10:1 さて、シェバの女王は、エホバの名をたたえるソロモンの名声について聞いた。それで彼女はソロモンを難問(*謎掛け)で試そうとしてやって来た）そして、イスラエルの繁栄ぶりを見て、こう言いました。「私は半分も知らされていませんでした。……あなたの民は幸せです。いつもあなたの前に立って、あなたの知恵を聞いている家来たちも幸せです」。（王一 10:6-8 彼女は王に言った。「私が自分の国であなたの功績(*言葉)と知恵について聞いたことは、本当でした。7 私は来て、この目で見るまでは、信じていませんでした。私は半分も知らされていませんでした。あなたの知恵と繁栄は、私が聞いていたことをはるかに超えています。8 あなたの民は幸せです。いつもあなたの前に立って、あなたの知恵を聞いている家来たちも幸せです）でも将来、イエスが王になった時には、ソロモン王の時代よりもずっと素晴らしいことが実現します。

10. イエスはどんなところがソロモンよりも優れていますか。

10 イエスはソロモンよりも**はるかに優れた王**です。ソロモンはとても完璧な王とは言えませんでした。重大な間違いを幾つもして、民につらい思いをさせました。では、イエスはどうでしょうか。地上にいた時には、サタンからいろいろと誘惑されましたが、それでもエホバに従い続けました。イエスは**完全な方**で、間違ったことをして国民につらい思いをさせるようなことは決してありません。（ルカ 1:32 その子は偉大な者となり、至高者の子と呼ばれます。エホバ神は父ダビデの王座を彼に与え、ヘブ 4:14, 15 私たちには、天に行った偉大な大祭司、神の子イエスがいるのですから、イエスについて人々に語り続けましょう。15 私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情できないような方ではありません。あらゆる点で私たちと同じように試され、しかも罪がない方です）こんな素晴らしい王に治めてもらえるのは本当にうれしいことです。

11. イエスは誰と一緒に統治を行いますか。

11 イエスは**14万4000人**と一緒に統治を行い、人間が幸せに暮らせるように助けています。また、地球についてエホバが当初考えていたことが実現するようにします。（啓 14:1-3 私がさらに見ると、子羊がシオンの山に立っていた。そして**子羊と共に14万4000人の者たち**がいて、彼らの額には**子羊の名とその父の名**が書かれていた。2 天から、大きな滝(d*多くの水)の音のような、また大きな雷鳴のような音が聞こえた。私が聞いた音は、たて琴を弾きながら歌う者たちの声のようでもあった。3 彼らは、王座の前および4つの生き物と長老たちの前で、**新しい歌のような歌を歌**っている。地から買い取られた**14万4000人以外**、誰もその歌を習得できなかった）14万4000人は、地上で暮らしていた頃に**大変な経験**をいろいろとしたので、**思いやり深い王**になってくれます。では、彼らは**具体的にどんなことをする**のでしょうか。

14万4000人は何をするか

12. 14万4000人は、エホバから**どんな仕事を任**されますか。

12 イエスと**14万4000人**には、ソロモンよりも**ずっと多くの仕事**があります。ソロモンが治めたのは1つの国だけでしたが、イエスと**14万4000人**は**地球全体**を治めます。人口は何十億人にも上ることでしょう。**14万4000人**は、エホバから**本当に大きな仕事を任**されます。

13. 14万4000人は、**地上に住む人たち**のために**どんなことをします**か。

13 14万4000人は**イエスと同じように**、**王**または**祭司**としての役割を果たします。（啓 5:10 そして彼らを、私たちの**神に仕える王**および**祭司**とし、彼らは**王として地上を治める**のです）モーセの律法によると、**祭司**には、**民の健康を守り**、**エホバとの良い関係を保てる**よう助ける責任がありました。「**律法は後に来る良いものの影**」なので、14万4000人も、**地上に住む人たちの健康**や**エホバとの関係を守る**ために働きます。（ヘブ 10:1 **律法は後に来る良いものの影にすぎず**、実体ではありません。ですから、毎年同じ犠牲が捧げられても、神に近づく人が律法(if*人々。祭司たちのことかもしれない)によって完全になることは決してありません）**天で統治を行う**人々は、**地上にいる**人々と**どのように意思を通わせる**のでしょうか。今はまだ分かりません。エホバがどんな方法を使うとしても、パラダイスで生活する人々は必要な指示や情報を確実に受け取ることができます。（啓 21:3, 4 その時、王座から大きな声がした。「見なさい！ 神の天幕が人々と共にあり、神は人々と共に住み、人々は神の民となります。神が人々と

共にいるようになるのです。4神は人々の目から全ての涙を拭い去ります。もはや死はなくなり、悲しみも嘆きも苦痛もなくなります。以前のものは過ぎ去ったのです」)

「ほかの羊」はパラダイスで生活するためにどんなことをする必要があるか

14. 「小さな群れ」と「ほかの羊」はどんな関係にありますか。

14 イエスは、自分と一緒に天で治める人たちのことを「小さな群れ」と呼びました。（ルカ 12:32）

恐れることはありません、**小さな群れ**よ。天の父は、**あなたたちに王国を与えることを喜んでいます**）そして、別のグループのことを「ほかの羊」と言いました。この2つのグループは、**1つの群れ**になります。 （ヨハ 10:16 私には**ほかの羊**がいますが、この団いのものではありません。私は**その羊たちも連れてこなければならず**、それらも私の声を聞きます。こうして、**1つの群れ、1人の羊飼いとなります**）**今も協力して働いていますし、地球がパラダイスになった時にも一緒に働きます**。その時、「**小さな群れ**」は天にいますが、「**ほかの羊**」は地上で生活します。でも、「**ほかの羊**」の人たちが**パラダイスでいつまでも暮らすためには、今しなければならない**ことがあります。



パラダイスで生活するために今からできることがある。（15節を参照。）

*写真や挿絵: 復活してくる人たちと聖書レッスンをしたいと思っている兄弟が、今から教える活動を行っている。

15. (ア) 「ほかの羊」はイエスの兄弟たちを支えるために**どんなことができますか**。（イ）写真の兄弟は、**買い物の時に何をしていますか**。この兄弟に**どのように倣えますか**。

15 イエスの隣で亡くなった**犯罪者**は、態度を改めたとはいえ、**イエスに十分に感謝を表すことはできませんでした**。でも、「ほかの羊」には**そのチャンスがたくさんあります**。例えば、**イエスの兄弟たちを助けたり支えたり**できます。そうするなら**裁きの時に羊と見なされる**、といエスは言いました。（マタ 25:31-40）**人の子は栄光を帶びて、全ての天使と共に来ると、その時、栄光の座に座ります**。32 全ての国の人々が彼の前に集められ、人の子は、羊飼いが羊をヤギから分けるように、人々を分けます。33 そして羊を自分の右に、ヤギを自分の左に置きます。34 それから王は、右にいる人たちに言います。『さあ、私の父に祝福された人たち、世が始まって以来あなたたちのために用意されている王国を受けなさい。35 私が飢えると食べ物を与える、喉が渴くと飲み物を与えてくれたからです。よそから来ると温かく迎え、36 裸でいると服を与えてくれました。病気になると世話をし、牢屋にいると訪問してくれました』。37 その時、正しい人たちはこう答えます。『主よ、いつ、あなたが飢えているのを見て食べ物を差し上げ、喉が渴いているのを見て飲み物を差し上げたでし

ようか。38いつ、よそから来たのを見て温かく迎え、裸なのを見て服を差し上げたでしょうか。39いつ、病気であったり牢屋にいたりするのを知って訪問しましたか』。40王は答えます。『実のところ、これら私の兄弟のうち最も目立たない人の1人にしたのは、それだけ私にしたのです』)では、どのようにイエスの兄弟たちを支えることができるでしょうか。(ア)伝道や人々を弟子とする活動を一生懸命に行うことができます。(マタ28:18-20)イエスは近づいて、こう話した。「私には天と地における全ての権威が与えられています。

19それで、行って、全ての国の人々を弟子としなさい。父と子と聖なる力の名によってバプテスマを施し、20私が命令した事柄全てを守るように教えなさい。私は体制の終結までいつの日もあなたたちと共にいるのです」)

そのために、(イ)「いつまでも幸せに暮らせます」などの宣教ツールを活用しましょう。もし今、誰とも聖書レッスンをしていないなら、できるだけ多くの人にレッスンを勧めてみるのはどうでしょうか。

16. パラダイスで生活するために、今からどんなことができますか。

16 エホバがパラダイスに住んでほしいと思うような人になるために、今からできることがあります。例えば、①正直に語り、行動することです。②毎日の生活で節度を守るようにします。どんなことがあっても③エホバや配偶者や仲間を愛し続けることも大切です。今の悪い世の中でこうした点を努力しているなら、パラダイスになった時にエホバの基準に自分を合わせるのはもっと楽になるでしょう。ほかにも、④パラダイスで役立つ技術や良い性質を身に付けることもできます。この号の「『地球を与えられる』時に向けて今できること」という記事をご覧ください。

17. 自分を責める気持ちと闘っているなら、どんなことができますか。

17 過去に重大な罪を犯したために自分を責める気持ちと闘っているなら、自分を許せるように努力することも大切です。もちろん、贖いがあるからといって、「故意に罪を犯し続ける」のは良くありません。(ヘブ10:26-31)もし私たちが、真理の正確な知識を得た後に故意に罪を犯し続けるなら、罪のための犠牲はもう何も残っていません。27恐れつつ処罰を待つしかなく、逆らう人は神の燃える憤りによって焼き尽くされます。28モーセの律法を無視した人は誰でも、2人か3人の証言に基づいて、容赦されずに死ぬことになります。29では、ある人が神の子を踏みつけ、自分を神聖にした契約の血をありふれたものと見なし、神の惜しみない親切の表れである聖なる力をひどく侮った場合、はるかに厳しい処罰に値すると思いませんか。30私たちは、「復讐は私がすることであり、私が報復する」と述べた方を知っています。また、「エホバ(*)はご自分の民を裁く」ともあります。31生きている神の手に掛かる(*神から処罰を受ける)のは恐ろしいことです)でも、自分がしてしまったことを心から後悔し、エホバや長老たちに助けを求め、悪い行いをやめるなら、エホバは寛大に許してください。 (イザ55:7 悪い行いをやめ、有害な考えを捨てよ。憐れんでくださるエホバのもとに帰れ。私たちの神のもとに帰れ。神は寛大に(*惜しみなく)許してください。使徒3:19)ですから、罪を消し去っていただくために、悔い改めて生き方を変え(d*)なさい。そうすれば、爽やかにする時期がエホバ(d*エホバの顔)から来て、)たとえ大きな罪であったとしても、イエスの贖いに基づいて許していただけるのです。イエスはパリサイ派の人たちにこう言いました。「私は、正しい人ではなく罪人を招くために来ました」。(マタ9:13)『私が望むのは憐れみであって、犠牲ではない』ということの意味を、行って学んできなさい。私は、正しい人ではなく罪人を招くために来ました)

パラダイスでの生活を楽しみに待つ

18. あなたは、イエスの隣で亡くなった人とどんなことを話してみたいと思いますか。

18 パラダイスにいる自分の姿をイメージできますか。イエスの隣で亡くなったあの人と話すことができるかもしれません。あなたもその人も、イエスの贖いにどれほど感謝しているかを語り合うことでしょう。あなたはその人に、イエスが死ぬ間際の様子や、パラダイスについて聞いた時の気持ちを尋ねるかもしれません。その人はあなたに、終わりの時代についていろいろと尋ねてくることでしょう。こうした人たちと聖書レッスンができることを考えると、本当にわくわくします。 (エフェ 4:22-24) 皆さんは、古い人格を脱ぎ捨てるようにと教えられました。その人格は、以前の生き方に基づくもので、悪い欲望に引きずられて腐敗していきます。 23 考え方(*精神的傾向)を新しくする努力を続けましょう。 24 そして、新しい人格を身に着けましょう。その人格は神の意志に沿って形作られる(*創造された)ものであり、本当の正しさと忠実さ(*揺るぎない思い)に基づいています)



待ちに待った千年統治で、自分の才能を磨いて楽しそうにしている兄弟。 (19節を参照。)

19. パラダイスでの生活が退屈になることはありません。どうしてですか。 (表紙の絵を参照。)

19 パラダイスでの生活が退屈になることは決してありません。本当にいろいろな人たちと出会うことができますし、やりがいのある仕事もたくさんあります。それだけではありません。お父さんエホバとエホバが造ってくれた物についてもっと知ることができます。知れば知るほど、新しい発見があります。私たちのエホバへの愛は、時とともにどんどん深まっていくことでしょう。こうしたことを考えると、パラダイスでいつまでも生きられるようにしてくださったエホバとイエスへの感謝の気持ちでいっぱいになります。

どのように答えますか

1. パラダイスではどんな生活が待っていますか。

- S05 美しい自然の中で、おいしいものがたくさん並んだ食卓をみんなで囲んでいる。草木や花の爽やかな香りもしてくる。家族や友達の楽しそうな笑い声も聞こえる。その中には、復活してきた人たちもいる。
- S06 大患難を生き残った人たちや復活してくる人たちに、服や食べ物や家を準備する仕事、地球をパラダイスに変えていく仕事、人々を教える仕事もある。エホバやエホバのお考えをほとんど知らない人たちや、古代の忠実な人たちが大勢復活してくる人たちに教えられる。
- S07 みんなが仲良く暮らし、生活に必要な物に困ることはなく、そこに住む人たちはきちんと組織される。こうしたことは、ソロモンが王だった時代の様子から分かる

2. 14万4000人にはどんな役割がありますか。

- S12 ソロモンが治めたのは1つの国だけでしたが、イエスと14万4000人は地球全体を治めるので、ソロモンよりもずっと多くの仕事がある
- S13 イエスと同じように、王また祭司としての役割を果たす。モーセの律法によると、祭司には、民の健康を守り、エホバとの良い関係を保てるよう助ける責任があったので、14万4000人も、地上に住む人たちの健康やエホバとの関係を守るために働く

3. 「ほかの羊」はパラダイスで生活するために、今どんなことができますか。

- S15 伝道や人々を弟子とする活動を一生懸命に行って、イエスの兄弟たちを助けたり支えたりできる。そうするなら裁きの時に羊と見なされる
- S16 ①正直に語り、行動する。②毎日の生活で節度を守る。③どんなことがあってもエホバや配偶者や仲間を愛し続ける。④パラダイスで役立つ技術や良い性質を身に付ける
- S17 過去に重大な罪を犯したために自分を責める気持ちと闘っているなら、自分を許せるように努力する。自分がしてしまったことを心から後悔し、エホバや長老たちに助けを求め、悪い行いをやめるなら、エホバは寛大に許してください

22番の歌 王国は統治している 王国が来ますように！

△ 「パラダイスではどんな生活ができるんだろう」と考えることができます。こうしたことを想像すると、伝道でパラダイスについてもっと気持ちを込めて語れるようになります。この記事を学ぶと、イエスが約束したパラダイスがもっと楽しみになるでしょう。

△ 写真や挿絵: 復活してくる人たちと聖書レッスンをしたいと思っている兄弟が、今から教える活動を行っている。

△ (ルカ 23:43) イエスは言った。「今日あなたに言います。あなたは私と共にパラダイスにいることになります」。

△ (ルカ 23:39-43) 桁に掛けられた犯罪者の1人がイエスに暴言を吐き始め、「キリストだろ。自分とわれわれを救ってみろ」と言った。⁴⁰ それに対してもう1人が、彼を叱った。「神を少しも畏れないのか。同じ処罰を受けているのに。⁴¹ われわれの場合は当然だ。自分がしたことの報いを受けているのだから。しかしこの人は何も悪いことはしていない」。⁴² さらに言った。「イエス、王国に入る時に私を思い出してください」。⁴³ イエスは言った。「今日あなたに言います。あなたは私と共にパラダイスにいることになります」。

読者からの質問

詩編 61 編 8 節でダビデは、「永遠に」神の名を賛美すると言いました。これは、現実にはあり得ないことでしたか。

いいえ、そうではありません。では、ダビデはどんな意味でそう言ったのでしょうか。

ダビデは、この聖句に加えてほかの部分でも似たような表現を使っています。「私は永遠にあなたの名を賛美して歌う。毎日、誓約を果たす」。「私の神エホバ、心を込めてあなたを賛美し、あなたの名を永遠にたたえます」。「あなたの名をいつまでも永遠に賛美します」。

(詩 61:8; 86:12; 145:1, 2)

この言葉を書いたダビデは、自分は決して死なないと思っていたわけではありません。ダビデは「罪を犯した人は死ぬ」とエホバが言ったことや、自分も罪を受け継いでいることを知っていました。(創 3:3, 17-19。詩 51:4, 5) また、アブラハムやイサクやヤコブなど、エホバに愛された人が死んだということも知っていました。そして、自分もやがて死ぬということが分かっていました。(詩 37:25; 39:4) ダビデは、生きている限りエホバを賛美したいという思いで、詩編 61 編 8 節を書きました。(サム二 7:12)

詩編 18 編, 51 編, 52 編の表題から分かる通り、ダビデが書いた詩の中には、当時の自分の経験を題材にしたものもあります。詩編 23 編でダビデはエホバのことを、正しい道に導き、爽やかにし、守ってくれる牧者として描いています。自分も羊飼いだったダビデは、そのような神に「一生涯」仕えたいと思いました。(詩 23:6)

ダビデに聖なる力を与えて詩編を書かせたのは、エホバです。詩編の預言の中には、ずっと先の将来に実現するものも含まれていました。例えば、詩編 110 編でダビデは、自分の主が天で「[神]の右に座」り、大きな力が与えられる時について書きました。主は神の敵たちを征服し、地上の「国々に刑を執行します。ダビデの子孫から生まれるメシアは、「永遠に祭司」であり、天から統治を行います。(詩 110:1-6) イエスは、詩編 110 編が自分に当てはまり、将来に実現すると言いました。(マタ 22:41-45)

ダビデは聖なる力に導かれて、自分が生きていた時のことと、将来復活してエホバを永遠に賛美できる時のこととを書いていました。このことからすると、詩編 37 編 10, 11, 29 節の言葉も、過去と将来に実現すると言えます。古代にはイスラエルで実現しましたし、将来エホバが約束を果たしてくださる時には、地球全体で実現します。(この号の「あなたは私と共にパラダイスにいることになります」という記事の 8 節を参照。)

ですから、詩編 61 編 8 節や他の聖句でダビデは、生きている限りエホバの栄光をたたえたいという気持ちを表現していました。また、これらの聖句は、ダビデが将来復活した時、文字通り永遠にエホバを賛美できるということも示しています。(以上)





「地球を与えられる」時に向けて今できること

イエスは、「**温和な人たちは幸福です。地球を与えられるからです**」と言いました。私たちはみんな、この約束が実現する時を心待ちにしています。（マタ 5:5）「**地球を与えられる**」とは、どういうことでしょうか。天に行く人たちは、イエスと一緒に天から地球を治めます。（啓 5:10; 20:6）一方、**ほとんどのクリスチヤンは、地上でいつまでも暮らします。**完全になり、**幸せで穏やかな生活ができるのを楽しみにしています。**でも、こうした生活を実現させるために、私たちがすべき仕事もあります。3つ考えてみましょう。**地球を管理すること**、**復活してくる人たちに必要な物を与えること**、**復活してくる人たちを教えることです。**その時に向けて、**今からどんなことができるかも考えましょう。**

地球を管理する

エホバは人間に、「**地上全体に広がり、地球を管理しなさい**」と言いました。（創 1:28）この言葉から、エホバが**地球全体をパラダイスにしたい**と思っていることが分かります。それで、地球上に住む人は、エホバのこの言葉の通りにする必要があります。エデンの園はもうないので、地球全体をパラダイスにしていく仕事を一から始めなければなりません。**ハルマゲドンの後は、後片付け**をする必要もあるでしょう。本当にたくさんの仕事が待っています。

バビロンからユダに帰ってきたイスラエル人も、同じような経験をしました。ユダは70年間、誰も住んでいなかったので、とても荒れ果てていました。でもイザヤは、エホバの助けがあればその土地を回復できる、と預言しました。こう言っています。「エホバは……**荒野をエデンのよう**にし、**砂漠平原をエホバの園のよう**にする」。（イザ 51:3）イスラエル人はこの仕事をやり遂げることができました。私たちもエホバの助けがあれば、地球を美しいパラダイスに変えていくことができます。では、将来こうしたことを行う時に向けて、今どんな準備ができるでしょうか。

家の中や周りをきれいにしておくようにしましょう。近所の人たちがそうしていないとしても、きちんと整えておくのは大事なことです。王国会館や大会ホールの掃除やメンテナンスにも参加しましょう。災害救援の奉仕に申し込むこともできるかもしれません。このようにして、困っている兄弟姉妹をいつでも助けられるように準備できます。「将来、地球をパラダイスに変えていく時に役立つ技術を今から身に付けられるだろうか」と考えてみてください。



復活してくる人たちに必要な物を与える

イエスは、ヤイロの娘を生き返らせた後、その子に何か食べる物を与えるようにと言いました。
(マル 5:42, 43) 12歳の女の子に食べ物を与えるのはそれほど大変ではなかったでしょう。では、イエスが言った通り、「記念の墓の中にいる人が皆、[イエス]の声を聞いて出てくる」時はどうなるでしょうか。
(ヨハ 5:28, 29) 聖書に詳しいことは書かれていませんが、復活してくる大勢の人たちに食べる物や家や服などを用意してあげる必要があるでしょう。その時のために、今どんなことをしておくとよいでしょうか。

「地球を与えられる」時に向けて、今どんな準備ができますか。

巡回訪問の時に、食事招待に申し込むことができますか。ホテル奉仕者や旅行する奉仕者が割り当ての変更を受けたなら、家を見つけるのを手伝ってあげられるでしょうか。地区大会や特別大会が開かれる場合、大会の前後に自発奉仕をしたり、海外からの代表者をもてなしたりできますか。

復活してくる人たちを教える

使徒24章15節からすると、復活してくる人たちはかなりの数になるでしょう。その多くは、エホバについて知るチャンスがなかった人たちです。私たちは、そうした人たちにエホバについて教えてあげることができます。
* 「ものの塔」2022年9



月号の「大勢を正しい道へと導く」という記事を参照。 (イザ 11:9) ヨーロッパや南アメリカやアフリカで奉仕してきたシャーロット姉妹はこう言います。「復活してくる人たちに、エホバのことを教えてあげられるのが本当に楽しみです。歴史上の人物について読むと、『もしこの人がエホバのことを知っていたら、どんな人生を送っていただろう』と思います。そうした人たちに素晴らしい真理を教えてあげられると思うと、わくわくします」。

イエスよりも前の時代の人たちも、学ぶことがたくさんあります。例えばダニエルは、自分が書いた預言の意味を理解できませんでした。私たちは、その預言がどのように実現したかを話してあげることができます。それは本当に楽しい時間になるでしょう。 (ダニ 12:8) また、ルツやナオミに、子孫からメシアが生まれたということを伝えることもできます。こうした教える活動は、世界中で行われていきます。今のようなストレスや問題がない世界で教える活動に参加できるというのは、本当に素晴らしいことです。

この活動のためにどんな準備ができるでしょうか。教える技術を磨いたり、伝道に定期的に参加したりできます。 (マタ 24:14) 年齢や他の理由であまり多くのことができないと感じるとしても、できる限りのことを行うなら、復活してくる人たちを教える準備をしていることがあります。

「地球を与えられる」時を心待ちにしていますか。地球を管理し、復活してくる人たちを助けたり教えたりすることを楽しみにしていますか。こうしたことを行う上で役立つ活動に今一生懸命参加するなら、将来に向けて良い準備ができるでしょう。



^ 「ものの塔」2022年9月号の「大勢を正しい道へと導く」という記事を参照。

^ (マタ 5:5) 温和な人々は幸福です。地球を与えられるからです。

^ (啓 5:10) そして彼らを、私たちの神に仕える王および祭司とし、彼らは王として地上を治めるのです」。